

水稻の刈取適期について。



高品質米生産には、適期収穫が大変重要です。早めに準備をして、収穫時期が遅れないよう注意しましょう。

早刈りは、粒の充実が不十分になり、未熟粒が多く低収、品質低下の原因になります。遅刈りは、胴割れ、穂発芽等の発生、品質低下の原因になります。

収穫期(適期)の目安

品種名	出穂後日数	出穂後積算気温
早生品種	35~40日	850~1,000℃
中生品種	38~42日	900~1,000℃
晩生品種	40~45日	900~1,050℃

- 出穂後の平均積算気温（日平均気温の累積）。
- 積算気温は登熟期間の気象状況によって変動するので、目安とする。
- 裏面に、図を掲載しています。ご覧ください。

刈取適期の診断

- 帯緑色籾歩合と共に出穂後の平均気温積算値による。
- 積算気温は登熟期間の気象状況によって変動するので、目安とする。
- 帯緑色籾歩合の推移より刈取適期を診断する。
- 帯緑色籾歩合とは、1穂のうち、緑色が残っている籾の割合がおおむね10%程度のときが収穫開始時期、2%のときが収穫晩限となる。
- 生育が平均的である5~10株の上位2穂程度を調査する。
- 成熟期は、肥効の切れやすい砂壤土で早まり、粘土質土壌や多肥栽培で遅れる傾向がある。

水稻斑点米カメムシ類
オススメ防除薬剤!

スタークル豆つぶ

出穂7~10日後が散布適期です!

田んぼに入らず、畦から、らくらく散布

特徴

- ・省力散布剤
...10アール当たりの散布量が250gと少量で、手撒き散布のほか、専用ひしゃくを利用した散布、動力散布機での散布も可能。
- ・飛散防止に優れる製剤
...「豆つぶ製剤」なので圃場周辺への薬剤飛散抑制に優れています。
- ・拡散性に優れる
...少量散布でありながら、「豆つぶ製剤」が、水面上を崩壊しながら自己拡散することで有効成分が水田全面に速やかに、かつ均一に広がるのを促します。

出穂後、カメムシ類による斑点米が多発し、品質を低下させています。出穂期とは、圃場全体の4~5割程度穂が出た状態です。それから7~10日後の傾穂期と呼ばれる時期が、スタークル粒剤・スタークル豆つぶの散布適期です。この時期を逃さぬよう、カメムシ防除を実施して下さい!



スタークル粒剤も、
オススメです!

TAC information

イベント情報~!!!



2019年8月31日(土)10:00~18:00

場所:みのる食堂前(高島屋京都店3F)

2019年9月1日(日)11:00~18:00

JR大阪駅/スケートビルディング 2階「アトリウム広場」

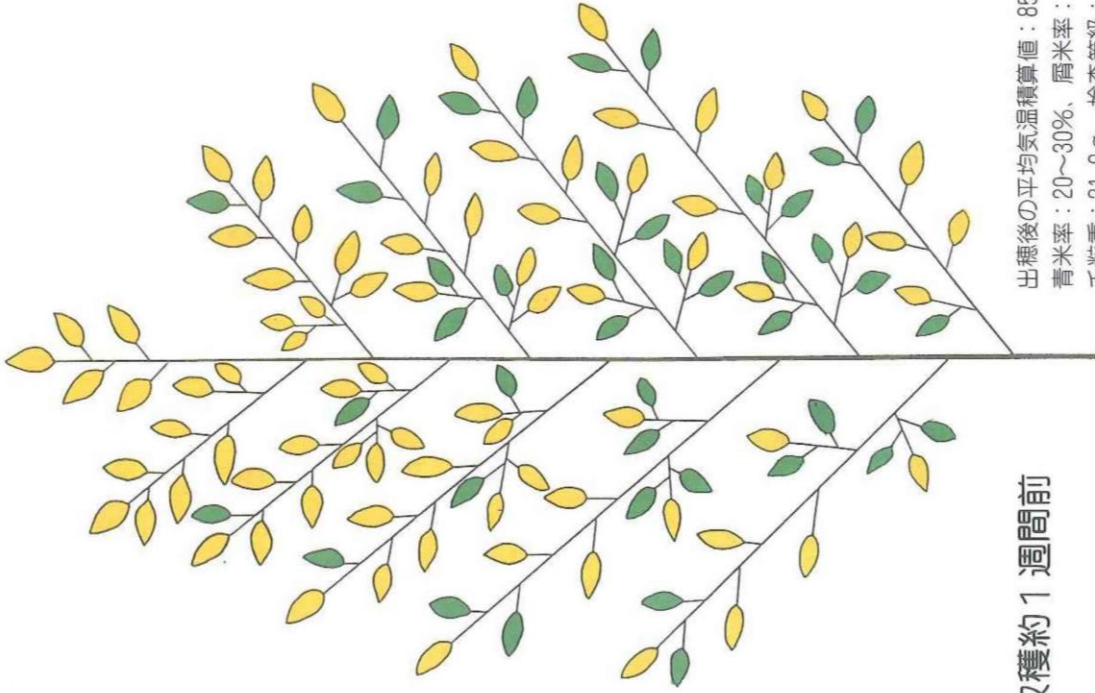
「みのりみのるマルシェ」を開催します!

マルシェでは京都茄子を中心に当JAの特産品を販売します!
みなさん、是非来てください!!!



※写真はイメージです

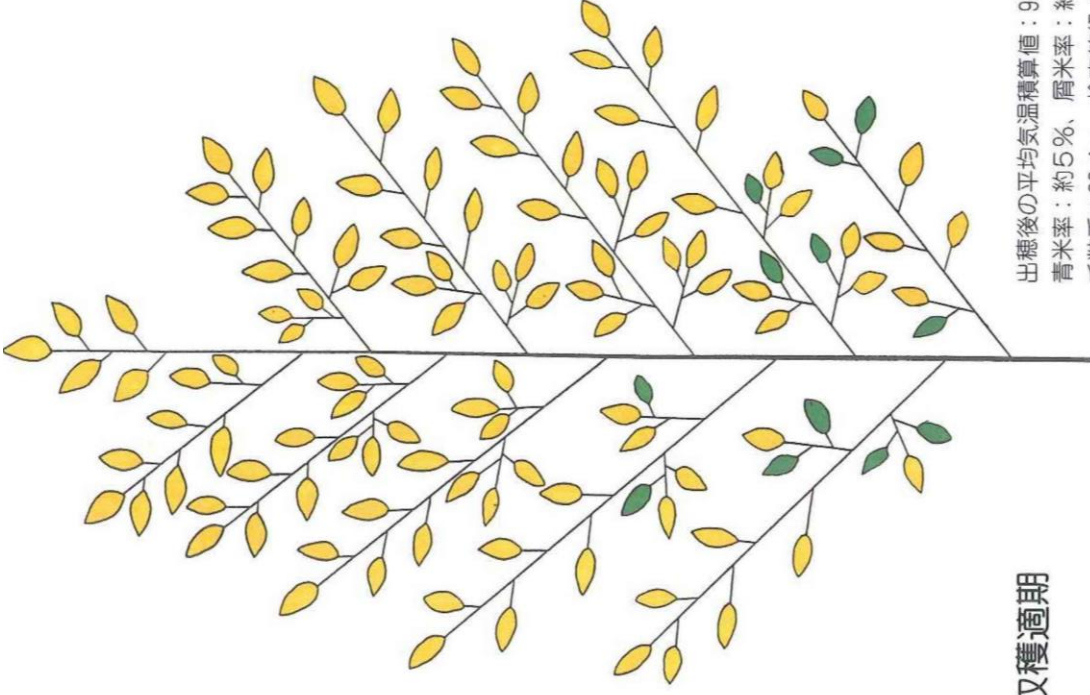
収穫期(適期)の目安



収穫約1週間前

出穂後の平均気温積算値：850～900℃
青米率：20～30%、屑米率：約6%
千粒重：21.9g、検査等級：1～2等
屑米率高く収穫するにはやや早い
成熟期まであと4～5日

滞緑色歩合：約30%の時期



収穫適期

出穂後の平均気温積算値：950～990℃
青米率：約5%、屑米率：約4%
千粒重：22.1g、検査等級：1等
成熟期（刈取適期）

滞緑色歩合：10～15%の時期